



## Chapter 3 キャンパスライフ

キリスト教の大学ですので入学式から卒業式まで、またイースター礼拝やクリスマス点火式などキャンパスで行われるイベントがミッションスクールの雰囲気にあふれています。サークル活動も盛んで、全国的に活躍している部も多くあります。1学科100名1学年600名という規模ですので、学生と教職員、学生一人ひとりが大変フレンドリーで、うれしいことがあれば共に喜び、困ったことがあれば助け合うという気風にあふれたキャンパスです。埼玉県を中心部大宮駅から一駅という交通の便に恵まれたところにありますが、キャンパスは緑にあふれ、四季の変化を豊かに感じることもできるのも特色です。

# 在学者数

学部学生数 (2011年5月1日現在)

## 政治経済学部

学科名	政治経済学科			コミュニティ政策学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	100	112	19	100	107	26	219
2年	100	115	15	100	117	19	232
3年	100	111	16	100	94	16	205
4年	100	146	19	100	135	20	281
合計	400	484	69	400	453	81	937

## 人文学部

学科名	欧米文化学科			日本文化学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	100	100	56	100	101	41	201
2年	100	99	44	100	113	55	212
3年	100	99	44	100	123	53	222
4年	100	114	56	100	141	51	255
合計	400	412	200	400	478	200	890

## 人間福祉学部

学科名	児童学科			人間福祉学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	100	118	76	100	109	42	227
2年	100	118	71	100	99	41	217
3年	100	112	70	100	107	59	219
4年	100	123	71	100	107	45	230
合計	400	471	288	400	422	187	893

## 学生数総計

合計	2,720 (内女子数 1,025)
----	--------------------

## 国籍別留学生数(2011年度)

※学部生のみ

国籍	男子	女子	合計
中国	103	109	212
韓国	16	9	25
ベトナム	8	4	12
台湾	3	4	7
ネパール	4	0	4
マレーシア	2	2	4
スリランカ	2	0	2
ミャンマー	0	2	2
イラン	0	1	1
インドネシア	0	1	1
英国(香港)	0	1	1
ガボン	1	0	1
タイ	0	1	1
バングラデシュ	1	0	1
ベナン	0	1	1
合計	140	135	275

## 学科・学年別留学生数(2011年度)

※学部生のみ

学科名	政治経済	コミュニティ政策	欧米文化	日本文化	児童	人間福祉	計
1年	20	22	15	11	0	10	78
2年	18	21	12	12	0	3	66
3年	19	14	24	10	0	0	67
4年	17	16	11	16	0	4	64
合計	74	73	62	49	0	17	275

## 学生の退学(除籍含む)状況について(学部)

### ■4年間の退学(除籍含む)状況

2007年4月に入学した学生数 682人  
 そのうち2011年3月に卒業した学生数 489人  
 そのうち2011年3月までに退学(除籍を含む)した学生数 114人

### ■1年間の退学(除籍含む)状況

2010年4月に入学した学生数 691人  
 そのうち2011年3月までに退学(除籍を含む)した学生数 32人

# 学費

## 授業料等納入金(2011年度)

学科	学年	学期	入学金	授業料	教育 拡充費	施設費	後援会 入会金	後援会費	学友会費	学生会費	卒業関連 事業費	同窓会費	学研災 ガウン代	合計	年間合計	
政治経済 コミュニティ政策 欧米文化	1年次	春	280,000	355,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	—	—	—	6,200	875,200	1,350,300	
		秋	—	355,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	100		475,100
	2年次	春	—	365,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	529,000	1,014,000	
		秋	—	365,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		485,000
	3年次	春	—	375,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	539,000	1,034,000	
		秋	—	375,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		495,000
	4年次	春	—	385,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	24,000	20,000	—	593,000	1,098,000	
		秋	—	385,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		505,000
	合計			280,000	2,960,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	—	24,000	20,000	6,300	4,496,300	4,496,300
	日本文化	1年次	春	280,000	355,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	2,000	—	—	6,200	877,200	1,352,300
秋			—	355,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	100	475,000	
2年次		春	—	365,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	—	—	—	531,000	1,016,000	
		秋	—	365,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		485,000
3年次		春	—	375,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	—	—	—	541,000	1,036,000	
		秋	—	375,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		495,000
4年次		春	—	385,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	24,000	20,000	—	595,000	1,100,000	
		秋	—	385,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		505,000
合計			280,000	2,960,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	8,000	24,000	20,000	6,300	4,504,300	4,504,300	
児童 人間福祉		1年次	春	280,000	380,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	—	—	—	6,200	900,200	1,400,300
	秋		—	380,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	100	500,000	
	2年次	春	—	390,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	554,000	1,064,000	
		秋	—	390,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		510,000
	3年次	春	—	400,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	564,000	1,084,000	
		秋	—	400,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		520,000
	4年次	春	—	410,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	24,000	20,000	—	618,000	1,148,000	
		秋	—	410,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	—		530,000
	合計			280,000	3,160,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	—	24,000	20,000	6,300	4,696,300	4,696,300

## 東日本大震災・支援活動について

この度の震災により被災された皆様によりお見舞い申し上げます。本学でも被害にあわれた方を出来る限りの支援させていただきたいと、以下のような支援活動を展開しています。(6月1日現在)

### 1.被災地への物資支援

株式会社トーエル(会長が聖学院高校OB)、白陽運輸株式会社(社長が、聖学院大学卒業生保護者後援会)のご協力により、水、ガスボンベ、カセットコンロなどトラック1台分を被災地の仙台に向けて、3月23日運搬。具体的には、キリスト教同盟校(宮城学院女子大学、尚綱学院大学、東北学院大学)、仙台キリスト教育院の4校を通じて、物資を配布。

### 2.学生による自主的街頭募金活動

3月25日より本学の1年生の呼びかけに基づき学科を越えた有志による募金活動。大宮駅、宮原駅、駒込駅で実施中。

### 3.日本臨床発達心理士会埼玉支部の活動(支部長:児童学科学谷京子教授)

さいたまスーパーアリーナ(3月20日-31日)及び加須市の旧騎西高校に避難している福島県双葉町の子どもたちへの心のケア支援活動を実施中。学生もボランティアとして参加。

### 4.株式会社トーエルによる被災地救援物資運搬の支援(有償ボランティア)

水、ガスなどのライフラインの事業を行う、株式会社トーエルの運搬作業のサポートを学生に応募。学生15名が、運搬補助アルバイトを実施(3月)。

### 5.入学前準備教育の学生スタッフを中心とした支援検討

具体的な支援活動について、学生スタッフが自主的に検討、4月18日ワールドカフェ「今回の震災で私たちは何が出来るか」を開催。

### 6.復興支援ボランティアセンターの設置

①ボランティア学生の養成・登録、②被災地の状況等に関する情報の収集・整理・発信・連絡調整、③ボランティアのコーディネーション、④募金活動等の学生による支援活動の報告、⑤支援アイデアの募集、⑥救援物資の収集などのために、学生食堂の一角に設置。

### 7.被災地でのボランティア活動

- ・4月21日-24日に岩手県久慈市から宮城県石巻市までの15市町村のボランティアセンターを訪問し、支援ニーズを調査。
- ・5月26日-29日に、岩手県野田村で学生5名がガレキを撤去。6月30日-7月3日に第二陣、9月1日-4日に第三陣を派遣する予定。
- ・5月27日-30日に、宮城県気仙沼市で職員2名が上尾市社会福祉協議会職員とともに泥かきボランティアに参加。6月10日-11日の上尾市社会福祉協議会主催の気仙沼市でのボランティアに学生3名、教員2名、職員1名が参加予定。

### 8.支援活動報告会

- ・5月18日に、学生及び教職員が支援活動を報告。
- ・6月1日に、学生が支援活動を報告。

### 9.救援物資の収集・輸送

- ・6月5日に、宮城県南三陸町に、NPOコミュニティ活動支援センターとさいたま市北商工協同組合の協力を得て、学生2名が野菜と果物を輸送。
- ・避難所の暑さ対策として、保冷剤、タオル、水鉄砲、ビニールプールを収集中。

### 10.その他、学生・教員の自主的なボランティア活動

- ・岩手県山田町での水中遺体捜索(学生)
- ・宮城県石巻市での泥かきボランティアに参加(学生)
- ・宮城県気仙沼市での泥かきボランティアに参加(学生)
- ・宮城県仙台市での泥かきボランティアに参加(学生)
- ・液状化した千葉県浦安市での泥かきボランティアに参加(学生)
- ・さいたまスーパーアリーナでのゴミ回収ボランティアに参加(学生)
- ・宮城県山元町・福島県南相馬市での救援物資の配布(学生)
- ・宮城県東松島市の避難所において、PSW(精神保健福祉士)として心のケアの相談支援(教員)
- ・福島県会津若松市に避難中の大熊町民の生活支援ニーズの聞き取り調査(教員)

# 奨学金

## ラーニングサポート制度

**減免について:**年間授業料の30%を学納金より減免。減免期間は1年間。

**対象:**1年生(日本人)。主として家計を支えている人の昨年1年間の所得金額が700万円未満。春学期学業成績GPA2.5以上。

**選考:**上記対象者の中から春学期学業成績および申請書などの選考により秋学期に決定。

**2010年度:**13名

## 進学・修学支援制度

現在進行中の金融危機の影響で経済的な理由から大学進学をあきらめざるを得ない受験生を支援するために聖学院大学では2009年度一般入試で「緊急・経済支援特別入試」を実施いたしました。2011年度入学の受験生に対しても、自立修学を支援するものとして以下の通り支援計画を実施しました。2012年度入学の支援については検討中です(6月2日現在)。

### 2011年度入学時支援

#### A 学費月払い制度の適用

- ・申請書に基づく審査によって決定。
- ・申請者のうち高校在学中に「学生支援機構第一種」に予約、確定した者は、入学後支援機構から振り込まれる費用を月々自動振替によって学費にあてていただきます。

#### B 入学金免除

- ・申請書に基づく審査によって決定。
- ・入試ごとの審査により計30名まで。

入学時支援内容	2011年度	2010年度	2009年度
学費月払い制度の適用	12名	21名	※
入学金免除	15名	24名	2名

※2009年度緊急経済支援入試では、授業料の納入を最大4期分納。

## 2011年度緊急進学修学支援措置(東日本大震災対応)

東日本大震災にあっても、このために大学進学の夢をあきらめないでほしいと考え、特別入試制度と緊急経済支援措置を設けて、2011年度入試D日程特別入試を実施しました(検定料は無料、詳細はP.19)。被災を受けられた方は被災の状況により、最大で入学金の免除と一年間の授業料の全額免除が受けられます。2012年度でも同様の入学支援を行います。

### 1.対象地域

東日本大震災による災害援助法適用地域

### 2.対象者

- (1) 学費支弁者が死亡又は学費支弁者が居住する家屋の全壊もしくは全焼された方
- (2) 学費支弁者が居住する家屋の半壊もしくは半焼された方
- (3) 学費支弁者が居住する家屋が床上浸水された方
- (4) 学費支弁者が居住する家屋が床下浸水または一部損壊された方

### 3.支援措置内容

審査の上、下記のいずれかを措置を決定いたします。

- A. 入学金の全額免除および2011年度授業料(春学期・秋学期)の100%を免除。
- B. 入学金の全額免除および2011年度授業料(春学期・秋学期)の50%を免除。
- C. 入学金の全額免除および2011年度授業料(春学期・秋学期)の25%を免除。
- D. 入学金の全額免除。

※被災者支援措置 申請者 15名(6月2日現在、審査中。)

## 奨学金利用者数

### 聖学院大学独自奨学金給付・貸与者数

	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度
聖学院大学後援会 修学援助奨学金	5名 春学期0名 秋学期5名(給付2)	5名 春学期4名(給付2) 秋学期1名(給付1)	0名	5名 春学期2名(貸与2) 秋学期3名(貸与3)
第1奨学金 (メリットスカラシップ)	54名	58名	55名	54名
第2奨学金 (ニードスカラシップ)	26名 春学期15名 秋学期11名	21名 春学期11名 秋学期10名	25名 春学期13名 秋学期12名	26名 春学期14名 秋学期12名

### 日本学生支援機構奨学金貸与者数

日本学生支援機構の奨学金は、学業に励む学生自身に貸与されるものです。したがって卒業後、学生自身が返還することになります。返還金は、後輩の奨学金として再び活用する仕組みになっています。

	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度
第一種奨学金	44名	36名	36名	36名
きぼう21プラン	180名	187名	156名	108名

### 外部奨学金給付者数

現在聖学院で取り扱っている奨学金は、上記奨学金以外にも都道府県・民間育英団体などからの各種奨学金があります。募集期間はほとんどが4~5月に集中しています。これらの奨学金は、給付・貸与の別、奨学金、採用人数、金額など条件が各々異なり、採用人員が少数です。

	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度
ツツミ奨学財団奨学金	1名	0名	0名	1名

## 留学生授業料減免対象者数

※学部生のみ

	2010年度	2009年度
単位規定(30%)	220	190
成績上位(30%)	88	89

# ラーニングセンター

ラーニングセンターは学生の学習支援を行うところです。学生のみならず、学習面で困ったことやどこに聞いていいかわからないこと、担当の先生に聞きにくいことなど何でも相談できます。

大学での学びは自由であり、同時に責任が伴います。自分自身で目標を設定し、計画を立てて学習しなければなりません。多くの点で高校までとは異なり、戸惑うこともあるかもしれません。そんなときラーニングセンターは、学生一人一人が自分に合った学習方法を見つけるため一緒に考えます。

## 担当教員



センター長 基礎総合教育部長  
榎原 宣男



副センター長 児童学科特任講師  
佐藤 逸子

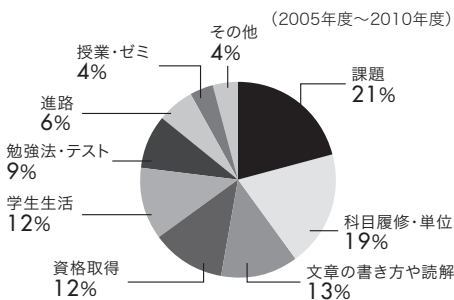


特任講師  
久保 千一

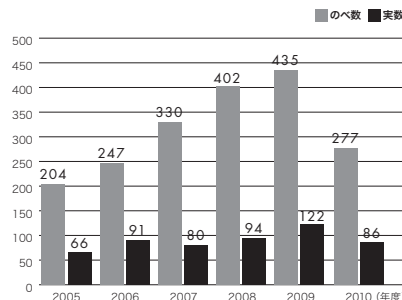


特任助手  
国府田 秀行

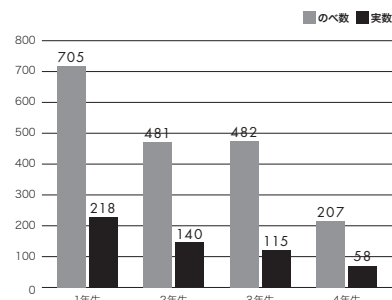
## 相談内容分布



## 年度別来室者数



## 学年別来室者数(2005年度~2010年度)

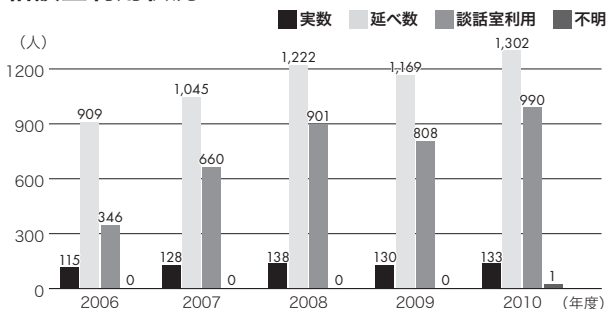


# 学生相談室

学生相談室は、大学生活を送る中で悩みや問題が生じたり、自分についてもっと考えたいと思うときに、その解決のお手伝いをするところです。心理的な相談だけでなく、思いがけないトラブルに遭遇してしまったり、聞きたいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない時など、学生が気軽に相談できる窓口となっています。臨床心理士によるカウンセリングの他、静かに過ごしたい、ゆっくり考え事したいという方のための談話室を運営し、学生相談室便りを年に数回発行して心の健康の啓蒙活動も行っています。

開室時間 月～金 10:30-17:30

## 相談室利用状況(2006年度~2010年度)



## 担当教員



室長 児童学科教授  
金谷 京子



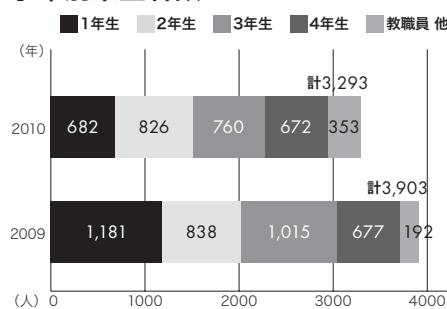
室長補佐 助教  
竹淵 香織

# 保健室

保健室では、けがや病気の応急処置の他に、健康関連の図書の閲覧や、アルコールパッチテスト、肥満指導も実施しています。授業期間中、毎週水曜日13:30～14:30の間、学校医による診察や健康相談日も設けています。また、それ以外の日でも看護師による対症療法やアドバイス等も行っています。

開室時間 月～金 9:30-17:30 土 9:30-16:00

## 学年別来室者数





# 施設

## 施設・設備について

校地・校舎面積等	(㎡)	建物の用途別面積	(㎡)	食堂座席数	(座席数)
校舎・講堂・体育施設敷地	34,075	講義室・演習室	5,577	1号館学生ホール	394
屋外運動場敷地	26,241	実験室・実習室	1,796	1号館地下グリーンラウンジ	96
その他	2,405	研究室	3,020	4号館1階食堂	258
<b>計</b>	<b>62,721</b>	図書館	2,213	エルビス館1階食堂	190
		管理関係・その他	11,053	エルビス館2階インターネットカフェ	63
		講堂(チャペル)	2,444	エルビス館2階エルビスホール	68
		体育施設	1,561	エルビス館2階特別食堂	20
		<b>計</b>	<b>27,664</b>	<b>計</b>	<b>1,089</b>

## PC利用環境

場所	備え付けPC
1号館	デスクトップPC42台
2号館	デスクトップPC4台 ノートPC75台
4号館	デスクトップPC82台
キャリアサポートセンター	デスクトップPC3台
総合図書館	デスクトップPC40台・ノートPC20台
インターネットカフェ	デスクトップPC6台

## ピアノ・オルガン台数 (台)

グランドピアノ	4
ピアノ	27
エレクトーンピアノ	6
電子ピアノ	23
オルガン	3
<b>計</b>	<b>63</b>

## 図書館利用状況 (2011年3月31日現在)

### 蔵書冊数

年度	2010			2009	2008
	和書	洋書	小計		
<b>合計</b>	224,772	63,445	288,217	283,513	278,566
全国大学平均(2009年3月)				223,000	
				(平均は図書館年鑑2010より)	

### その他の資料

和雑誌	442
洋雑誌	119
スライド	34
マイクロ資料	17,148
カセットテープ	1,077
ビデオ・LD・DVD	2,930
CD	1,089
CD-ROM	632

### 入館者統計

年度	2010*	2009	2008
開館日数	278	283	283
入館者数	145,628	142,258	153,915
※震災のため臨時閉館および入館者数のカウントを行わない日がありました。			

### 入館者数内訳

年度	2010
学生計	131,568
教職員計	9,344
一般	4,716

### 開館時間(参考)

曜日	月～金	土
授業開講期間中	8:45～21:30	8:45～17:00
その他期間	9:00～17:00	9:00～15:00

休館日
日曜・祝日、クリスマス、年末年始の定める日、入試日、蔵書点検期間(年1回)

### 館外貸出冊数

分類	全体(教職員・一般含む)			院生・学生・履修生のみ		
	2010	2009	2008	2010	2009	2008
<b>合計</b>	22,381	22,515	23,756	16,596	17,749	18,424
全国大学平均(2009年度)				22,900		
				(平均は図書館年鑑2010より)		

## 聖学院学術情報発信システムSERVE利用状況(2008～2010年度)

聖学院学術情報発信システム SERVE(Seigakuin Repository for academic archiVE)は、聖学院の研究および教育の成果を収集・蓄積・保存するとともに、Web上で世界に向けて情報を発信するシステムです。聖学院の電子的情報の散逸を防ぎ、情報の組織的保存(アーカイブ)を目指すものです。このような学術研究成果発信のシステムは「機関リポジトリ」といわれ、世界中で多くの大学や研究機関が構築、提供しています。SERVE もこの機関リポジトリの一つです。

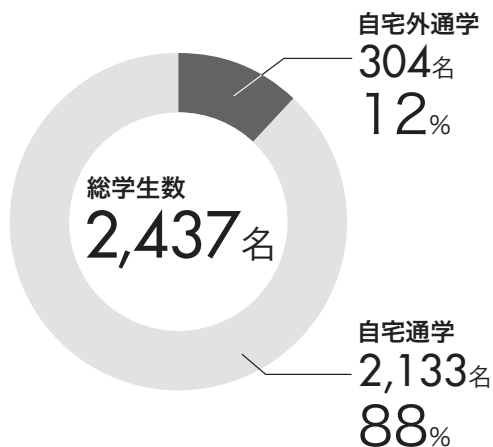
<http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/>

年度	2010	2009	2008
登録件数	437	499	148
閲覧件数	217,141	92,863	7,321
DL件数	85,061	29,802	2,188

※閲覧件数とは、各紹介ページ(書誌)へアクセスした件数  
※DL件数とは、添付されている本文データを開いた件数

# 学生生活

## 自宅・自宅外通学の割合



## 通学地域

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
茨城県	古河市	25	1	26
	猿島郡	5	0	5
	筑西市	4	0	4
	つくば市	4	0	4
	結城市	4	0	4
	土浦市	2	0	2
	取手市	1	1	2
	坂東市	2	0	2
	稲敷市	1	0	1
	笠間市	1	0	1
	下妻市	1	0	1
結城郡	1	0	1	
小計		51	2	53
栃木県	小山市	9	0	9
	下都賀郡	8	1	9
	宇都宮市	8	0	8
	下野市	6	0	6
	足利市	4	0	4
	大田原市	1	0	1
	鹿沼市	1	0	1
	佐野市	1	0	1
	塩谷郡	1	0	1
	栃木市	1	0	1
	那須郡	1	0	1
小計		41	1	42
群馬県	高崎市	13	1	14
	伊勢崎市	10	0	10
	前橋市	10	0	10
	邑楽郡	8	0	8
	渋川市	7	0	7
	安中市	5	0	5
	藤岡市	5	0	5
	館林市	3	0	3
	太田市	2	0	2
	佐波郡	1	0	1
	小計		64	1
埼玉県	さいたま市北区	71	128	199
	上尾市	93	28	121
	川口市	86	4	90
	さいたま市西区	33	44	77
	川越市	61	11	72
	鴻巣市	64	2	66
	春日部市	49	2	51
	熊谷市	46	1	47
	さいたま市見沼区	41	3	44

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
埼玉県	久喜市	42	1	43
	越谷市	42	1	43
	さいたま市浦和区	39	2	41
	深谷市	40	0	40
	北本市	39	0	39
	さいたま市南区	35	4	39
	行田市	38	0	38
	比企郡	37	0	37
	加須市	35	0	35
	さいたま市大宮区	27	8	35
	さいたま市中央区	26	7	33
所沢市	33	0	33	
桶川市	28	3	31	
さいたま市緑区	27	0	27	
戸田市	26	1	27	
さいたま市岩槻区	25	0	25	
新座市	25	0	25	
ふじみ野市	22	0	22	
南埼玉郡	22	0	22	
狭山市	21	0	21	
東松山市	21	0	21	
草加市	19	1	20	
本庄市	20	0	20	
蓮田市	15	0	15	
羽生市	15	0	15	
朝霞市	14	0	14	
鶴ヶ島市	14	0	14	
鳩ヶ谷市	14	0	14	
三郷市	14	0	14	
北葛飾郡	13	0	13	
坂戸市	13	0	13	
吉川市	12	1	13	
入間市	12	0	12	
北足立郡	11	1	12	
富士見市	11	0	11	
児玉郡	8	0	8	
入間郡	7	0	7	
大里郡	7	0	7	
蕨市	6	1	7	
志木市	5	1	6	
飯能市	6	0	6	
日高市	4	1	5	
和光市	5	0	5	
八潮市	3	0	3	

## 自宅外通学者の出身県

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
新潟県	39	神奈川県	7	大阪府	1
福島県	33	北海道	7	鹿児島県	1
群馬県	32	青森県	5	岐阜県	1
埼玉県	30	秋田県	4	熊本県	1
栃木県	21	静岡県	4	島根県	1
長野県	20	高知県	3	徳島県	1
宮城県	19	愛知県	2	兵庫県	1
茨城県	16	沖縄県	2	宮崎県	1
東京都	13	長崎県	2	合計	304
山形県	13	広島県	2		
岩手県	10	福岡県	2		
千葉県	8	山梨県	2		

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
埼玉県	秩父郡	2	0	2
	幸手市	1	0	1
	秩父市	1	0	1
	小計		1,466	257
千葉県	野田市	16	0	16
	松戸市	9	1	10
	柏市	8	0	8
	市川市	6	1	7
	船橋市	4	0	4
	我孫子市	2	1	3
	流山市	3	0	3
	浦安市	2	0	2
	千葉市花見川区	2	0	2
	八千代市	2	0	2
	印西市	1	0	1
君津市	1	0	1	
佐倉市	1	0	1	
白井市	1	0	1	
千葉市美浜区	1	0	1	
小計		59	3	62
東京都	足立区	48	1	49
	北区	42	6	48
	板橋区	39	3	42
	練馬区	40	0	40
	江戸川区	20	0	20
	葛飾区	20	0	20
	豊島区	15	4	19
	荒川区	16	1	17
	大田区	17	0	17
	江東区	16	1	17
	西東京市	11	0	11
杉並区	9	1	10	
台東区	9	1	10	
東村山市	8	2	10	
品川区	9	0	9	
世田谷区	9	0	9	
清瀬市	8	0	8	
中野区	6	2	8	
文京区	8	0	8	
小平市	7	0	7	
渋谷区	5	2	7	
小金井市	5	0	5	
新宿区	5	0	5	
八王子市	5	0	5	
墨田区	3	1	4	

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
東京都	調布市	4	0	4
	立川市	2	1	3
	千代田区	3	0	3
	府中市	3	0	3
	港区	3	0	3
	目黒区	3	0	3
	昭島市	2	0	2
	青梅市	2	0	2
	多摩市	2	0	2
	中央区	2	0	2
	西多摩郡	2	0	2
東久留米市	2	0	2	
日野市	2	0	2	
福生市	2	0	2	
町田市	2	0	2	
あきる野市	1	0	1	
稲城市	0	1	1	
国立市	1	0	1	
国分寺市	0	1	1	
東大和市	1	0	1	
武蔵野市	1	0	1	
小計		420	28	448
神奈川県	川崎市高津区	4	0	4
	川崎市中原区	4	0	4
	川崎市宮前区	4	0	4
	相模原市南区	2	1	3
	横浜市都筑区	3	0	3
	川崎市川崎区	2	0	2
	横浜市戸塚区	2	0	2
	川崎市多摩区	1	0	1
	相模原市中央区	1	0	1
	逗子市	1	0	1
	茅ヶ崎市	1	0	1
大和市	1	0	1	
横浜市青葉区	1	0	1	
横浜市金沢区	1	0	1	
横浜市栄区	1	0	1	
横浜市鶴見区	1	0	1	
横浜市中区	1	0	1	
横浜西区	1	0	1	
小計		32	1	33
その他		0	11	11
小計		0	11	11

※学生の本人住所と保護者住所の一致の状況から算出。但し、留学生を除く。

政:政治経済学科    欧:コミュニティ政策学科  
 日:日本語文化学科  
 児:児童学科        福:人間福祉学科

### クラブ・サークル一覧

分類名	団体名	所属人数
委員会・連合	学友会総務委員会	29
	学友会文化会連合	10
	学友会体育会連合	18
	特別委員会連合	13
	卒業関連事業準備委員会	11
	ヴェリタス祭実行委員会	16
文化会	映画制作部PICO☆LAWS	12
	演劇部	30
	軽音学部 サウンドスクエア	40
	茶道部 表千家	26
	写真部	18
	法学研究会	27
文化会同好会	東南アジアボランティア Rung	15
	放送部	5
	イラスト文芸同好会	30
	Ⓞたるクラブ同好会	33
	アカペラ同好会	27
	手話同好会	12
体育会	民俗考古学研究会	7
	剣道部	8
	硬式庭球部	27
	サッカー部	20
	スキー部ALPINA	7
	軟式野球部	13
	男子バスケットボール部	17
	バドミントン部	26
	バレーボール部	16
	女子ラクロス部	15
	陸上競技部	26
	特別委員会	ソフトテニス同好会
ソフトボール同好会 久米		25
バスケットボール同好会 GRIP		35
バレーボール同好会		20
テニス同好会 ハブルス		14
フットサル同好会		20
女子サッカー同好会 Challenger		5
ハンドボール同好会		7
ボウリング同好会		0
スノーボード同好会 スノーMonkey		0
聖学院大学クリスマスチャン・フェローシップ(SCF)		30
聖学院大学フィルハーモニー管弦楽団(SPO)		42
聖学院大学聖歌隊	10	
聖学院大学ハンドベル・クワイア	11	
聖学院大学ボランティア・アソシエーション(グレイス)	40	

2011年3月末現在

### 主な短期海外研修の参加状況(2006~2010年度)

年度	季節	国	大学/都市	政 コ 欧 日 児 福 計						
				政	コ	欧	日	児	福	計
2010年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	0	1	6	0	0	0	7
		韓国 (海外文化交流研修 アジア)	啓明大学校	0	0	0	5	0	0	5
		オーストラリア	ディーキン大学	0	0	6	0	0	0	6
	春	オーストラリア	フリントダース大学	0	0	0	0	14	0	14
		フィンランド (人間福祉学科 北欧福祉研修)	ヘルシンキ、タリン等	—	—	—	—	—	15	15
		アメリカ (児童学科 海外実習)	SAINTS*	—	—	—	—	2	—	2
小計				1	1	15	5	16	15	53
2009年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	新型インフルエンザの拡大により中止						
		韓国 (海外文化交流研修 アジア)	啓明大学校	新型インフルエンザの拡大により中止						
		韓国	啓明大学校	新型インフルエンザの拡大により中止						
	春	オーストラリア	ディーキン大学	0	0	5	0	0	0	5
		オーストラリア (児童学科 児童学海外研修)	フリントダース大学	新型インフルエンザの拡大により中止						
		デンマーク (人間福祉学科 北欧研修)	スウェーデン、オーデンセ等	0	0	0	0	0	18	18
小計				0	0	6	0	0	18	24
2008年度	夏	アメリカ (児童英語研修)	ハワイ	—	—	1	—	—	—	1
		カナダ	ビクトリア大学	2	1	6	0	0	1	10
		韓国 (海外文化交流研修 アジア)	啓明大学校	0	0	1	6	0	1	8
	春	オーストラリア	ディーキン大学	0	1	8	0	0	0	9
		オーストラリア (児童学科 児童学海外研修)	フリントダース大学	—	—	—	—	14	—	14
		フィンランド、スウェーデン (人間福祉学科 北欧福祉研修)	ヘルシンキ、ストックホルム	—	—	—	—	—	9	9
小計				2	2	18	6	14	11	53
2007年度	夏	アメリカ (児童英語研修)	UCLA	1	1	8	0	0	2	12
		アメリカ	ハワイ	—	—	2	—	—	—	2
		カナダ	ビクトリア大学	0	0	5	1	0	0	6
	春	韓国 (海外文化交流研修 アジア)	啓明大学校	0	0	0	5	1	0	6
		韓国	啓明大学校	2	0	1	2	0	0	5
		オーストラリア	ディーキン大学	0	3	13	0	0	0	16
小計				3	4	29	8	11	17	72
2006年度	夏	オーストラリア	フリントダース大学	3	2	6	3	0	1	15
		アメリカ	UCLA	3	3	7	2	1	1	17
		アメリカ (児童英語研修)	ハワイ	—	—	2	—	—	—	2
	春	韓国 (海外文化交流研修 アジア)	啓明大学校	0	0	2	11	0	0	13
		韓国	啓明大学校	0	0	0	2	0	0	2
		オーストラリア	ディーキン大学	0	1	5	1	0	0	7
小計				6	6	22	19	28	17	98

\*SAINTS:聖学院アトランタ国際学校  
 実施時期は年度によって異なるが11月または1月

### 在学中のアルバイト時間

学期中、アルバイトとして週何時間くらい働いていましたか。  
 (2009年度卒業生アンケート)\* 回答者数(464)、回収率86%

内容	回答数	割合
15時間以上	153名	33%
10時間以上15時間未満	92名	20%
5時間以上10時間未満	60名	13%
5時間以内	40名	9%
ほとんどしなかった	56名	12%

\*2010年度卒業生アンケートは、震災のため実施しませんでしたので参考に昨年度のものに掲載します。

### 提携校留学者数

学科	政	コ	欧	日	児	福
2010年度	0	0	2	0	0	0
2009年度	0	0	0	0	0	0
2008年度	0	0	1	1	0	0
2007年度	0	0	3	0	0	0
2006年度	0	0	3	1	0	0
2005年度	0	0	1	2	0	0
2004年度	0	0	0	0	1	0
合計	0	0	10	4	1	0